

摂食・嚥下外来 初診までの流れ

申し込み

- 電話(またはFAX)でお申込み(予約制)
- TEL 03-3267-6480 FAX03-3269-1213
- 受付時間 午前9時～午後4時

初診

- 医療面接, 口腔内診査
現在の食べ方の状況を問診し, お口の診査をします

摂食初診

- 診査, 診断, 評価, アドバイス
<持ち物>食べ方が気になる食べ物, 飲み物, 食具
初診時にお渡ししたアンケート

ワンポイント摂食アドバイスのご案内

食べ方が気になるので1度だけみてほしいという方のため, 少ない回数でのアドバイスも行っています. 歯科医師, 歯科衛生士にご相談ください.

お口の定期健診を受けましょう

お口の中の状態の変化(乳歯から永久歯への交換など)は, 食べ方に影響を与えることがあります. むし歯や歯周病を早期に発見し, **健康なお口で食事が楽しめるよう, 定期健診を受けましょう.**

* 摂食・嚥下外来とは別日の予約になります.

摂食・嚥下外来 予約

外来日 月・水曜日

診療時間 午前9時～12時, 午後1時～4時30分

※摂食・嚥下外来の診療は保険適用になります

摂食・嚥下外来のご案内

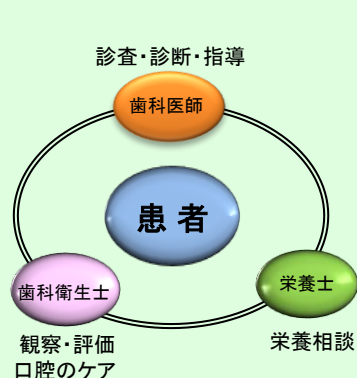


東京都立心身障害者口腔保健センター

摂食・嚥下外来とは？

「離乳食の進め方がわからない」「よくかまない」「むせてしまう」など、食べることに困りの患者さん(小児から高齢者)を対象に、おいしく安全に食事ができるようアドバイスをします。

多職種チームで支援します



歯科医師

診査・診断(必要があれば検査)をし、姿勢や介助方法、食べ物の形態や食具などのアドバイスをします。

歯科衛生士

食事場を観察し、アドバイスをします。より良いお口で食べられるよう、お口の環境を整え、機能を発揮できるように口腔のケアを行います。

栄養士

食事・水分量を計算し、低栄養や脱水、肥満の改善を支援します。栄養バランスの調査や献立の紹介をします。

検査

嚥下造影検査(VF)

飲みこむスピードや誤嚥*の有無など、外から見ることで見えない部分を評価します。

*食物や水が気管に入ってしまう状態



透視画像



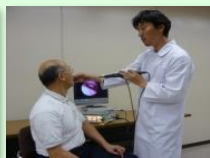
検査風景

嚥下内視鏡検査(VE)

鼻から内視鏡を挿入し、喉を直接観察します。喉に食べ物の残留がないかなどを評価します。



ファイバースコープ



検査風景

ライフステージと摂食・嚥下機能に応じて支援します

◆ 乳幼児期 ~ 学童期

離乳食の進み具合は個人差があります。口の機能にあった離乳食の調理形態や介助方法、スプーンやコップを使った水分の摂り方などについてアドバイスをします。



一口量を覚えたり、手と口の協調運動を養うため、手づかみ食べの練習をします。



自分で食べる達成感や満足感を体験できるように、使いやすい食器や食具を紹介し、持ち方をアドバイスします。

◆ 成人期

- ・獲得した食べ方に誤学習がみられる場合、正しい食べ方を身につけられるようにアドバイスをします。
- ・今まで上手に食べられていたものがうまく食べられなくなることがあります。食べ物の形態や姿勢などを検討し、安全に食べられるようにアドバイスをします。

◆ 老年期

加齢や疾患などで、食べる機能が低下することがあります。誤嚥を防ぎ、安全に食事ができるようにします。

口から味わう楽しみを支援します

胃瘻や経管栄養などにより、口から食べられない方もVF、VEの検査で誤嚥の状態を確認し、安全性を考慮して食べる喜びを感じられるように取り組んでいきます。